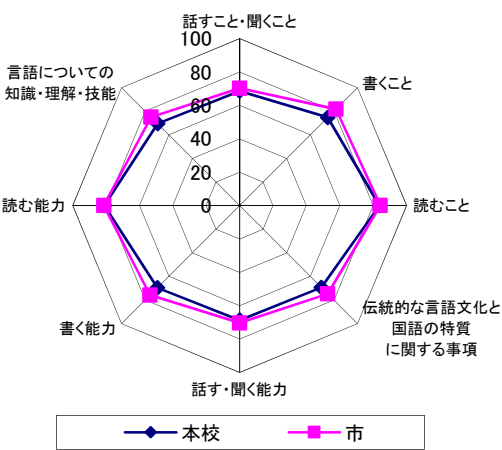


宇都宮市立白沢小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	68.6	70.3	68.2
	書くこと	74.6	81.7	80.6
	読むこと	83.8	84.3	84.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	69.4	74.7	72.7
観点別	話す・聞く能力	68.6	70.3	68.2
	書く能力	69.7	76.0	74.1
	読む能力	81.0	81.3	81.1
	言語についての知識・理解・技能	69.5	74.9	73.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市平均よりもやや下回っている。 ●司会者の役割を理解して、計画的に話し合うことを考える聞き取り問題では、市の平均正答率は50%、本校の平均正答率は49.2%であり、市と同様に低い正答率である。	・国語や学級活動の時間に、話し合いの内容をよく聞き取ったり、意見交換をしたりする場を多く設けるようにする。 ・司会を多くの児童に体験させるとともに、計画的に話し合いができるように、実践の場をもつようにする。
書くこと	平均正答率は、市の平均よりも下回っている。 ●与えられた情報を読み取り、話し合いの観点をふまえ、指定された語句を使って意見を一つにまとめる設問では、平均正答率が市の平均を下回っている。	・文章を、指定された語句、文字数でまとめたり、要約したりする活動を授業の中で繰り返し行うようにする。 ・模範となる文章を家庭学習で視写したり、教室内に掲示したりする。
読むこと	平均正答率は、市の平均をやや下回っている。 ○物語の内容を読み取ることは、市の平均正答率を上回っている。 ●説明文において、目的や必要に応じて文章の内容を的確に読み取ることが、市の平均を下回っている。	・説明文や物語の要旨・あらすじがつかめるようなワークシートを活用し、理解が深まるようにする。 ・ペアやグループなどで互いの考えを交流させるなどして、学び合いの学習の充実を図る。 ・朝の読書や家庭での読書において、様々なジャンルの文章に触れることができるよう、本を紹介したり助言したりする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は、市の平均を下回っている。 ●漢字の読み書き、言語についての基本的な理解に関する設問で、平均正答率が市の平均を下回っている。	・語句や漢字、熟語などについての理解を深めるために、国語辞典や漢字辞典を活用する習慣をつけるようにする。授業でも利用するようにする。 ・漢字の読み書きに関して、定着につながるように漢字練習帳を使っての学習や小テストの実施など、継続的に取り組んでいる。練習するだけではなく、漢字の使い方を意識した文章を書くなどの学習を行いながら、正しい漢字が習得できるようにしたい。